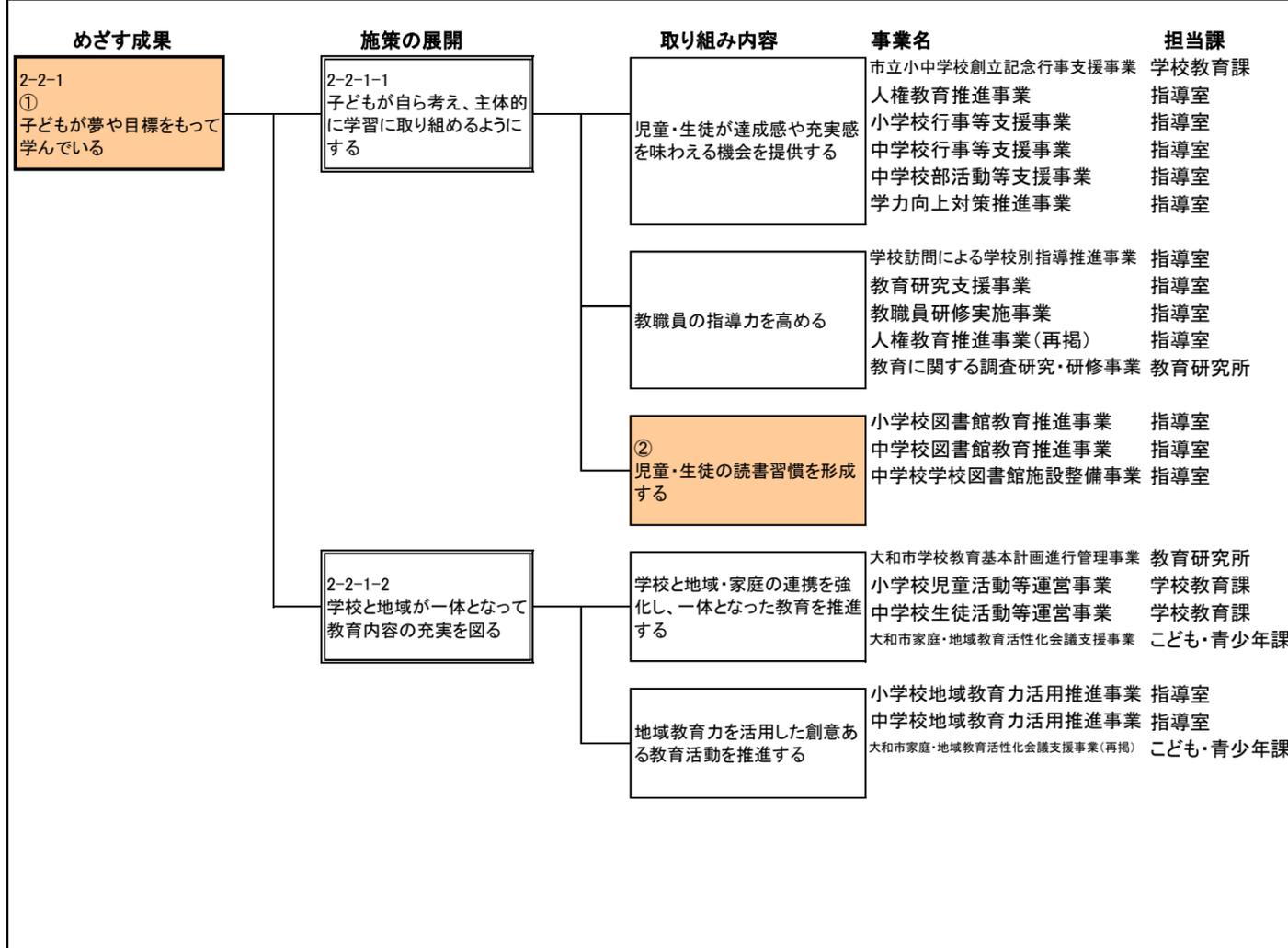


平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

2-2-1 子どもが夢や目標をもって学んでいる

総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・子どもが生き生きと育つまち
	個別目標	子どもの生きる力を育む
	めざす成果	子どもが夢や目標をもって学んでいる 一人ひとりの子どもが、自分と他者を認め合いながら、夢や目標をもって学んでいます。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



成果を計る主な指標	指標の名称		前期基本計画			後期基本計画	
			計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	中間目標値 (H28)
① 将来の夢や目標をもっているとした児童・生徒の割合	小5			92.4%	91.2%	89.0%	89.0%
	中2			70.6%	71.4%	71.5%	72.0%
② 児童・生徒の1か月の平均読書冊数	小4~6			12.2冊	11.2冊	13.5冊	14.0冊
	中1~3			3.3冊	3.7冊	5.8冊	6.0冊

所管部	教育部
-----	-----

平成26年度の取り組み内容	<p><b>【子どもが自ら考え、主体的に学習に取り組めるようにする】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館が小中学生の自主的な読書活動の場や学習センターの役割を果たすことができるよう、蔵書の新鮮度を高めるとともに充実を図りました。また、学校図書館システムを導入し、貸し出し時間の短縮や正確な蔵書管理、円滑で適切な蔵書検索が可能になりました。</li> <li>中学校3校の学校図書館のリニューアルを行いました。リニューアル後は、多くの生徒が図書館を利用し、読書活動や調べ学習などに有効利用しています。</li> </ul> <p><b>【学校と地域が一体となって教育内容の充実を図る】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室の開催日時に合わせ、学校の空き教室等を活用した放課後寺子屋やまをパイロット校（小学校6校）で開催し、宿題や自習など一人ひとりの児童のニーズに合わせた学習支援を行いました。また、放課後寺子屋やまの実施校では、教職員OBである同事業のコーディネーターが、教員の授業力向上のための支援を行いました。</li> </ul>
---------------	---

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館が有効に活用されるよう、SLS（学校図書館スーパーバイザー）、学校司書、図書館担当教諭を中心に、学校図書館システムを用いながら、蔵書の鮮度管理を含めた管理運用の工夫と周知を継続する必要があります。</li> <li>大規模改修事業や校舎の増築等に合わせて学校図書館をリフォームするなど計画的な視点で読書活動の場を活性化していきます。</li> <li>「放課後寺子屋やま」はパイロット校6校における試行結果を受け、小学校全校で実施するとともに、平成26年度のパイロット校では、より多くの児童に対して学習の場を提供するため、対象を全学年に拡大します。各校教員の指導力や課題解決力をさらに向上させるため、全校へのコーディネーターの配置や、費用を含めた管理運営体制の構築が必要です。</li> </ul>
-------------------------	---

今後の展開方針	注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案		(該当する事務事業)
既存事業の拡充	放課後寺子屋やまの全小学校での実施を進めます。	(該当する事務事業) 学力向上対策推進事業
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し		(該当する事務事業)